

- 訪日外国人旅行者数4,000万人、6,000万人の実現に向けて、訪日外国人旅行者の受入環境の整備が急務。
- ハード・ソフト両面からの受入環境整備を通じた訪問時・滞在時の利便性向上を図り、世界最高水準の観光拠点の整備を加速化。

訪日外国人旅行者受入基盤整備事業<ハード系事業> 補助率 1 / 3

※観光拠点を中心として面的に受入基盤を整備していくもの

<支援メニュー例>

- ・ 観光案内所その他観光拠点情報・交流施設の整備・改良



- ・ 交通施設のバリアフリー化 (鉄軌道駅等のエレベーター、スロープ等)



- ・ 案内標識、可変式情報表示装置の多言語表記等 (設備が公共性のある施設と一体不可分の関係にあるもの)



- ・ ホームドア

訪日外国人旅行者受入加速化事業<ソフト系事業> 補助率 原則 1 / 3

<支援メニュー例>

- ・ 宿泊施設(無料公衆無線LAN環境の整備、トイレの洋式化等)
- ・ 案内標識、可変式情報表示装置の多言語表記等 (訪日外国人旅行者受入基盤整備事業以外のもの)
- ・ ホームページ・案内放送の多言語化
- ・ 交通系ICカード



- ・ 企画乗車船券の発行
- ・ 無料公衆無線LAN環境の整備
- ・ 手ぶら観光カウンター
- ・ 受入加速化のための先導的な調査・検討



広域観光周遊ルート内の観光拠点等において、訪日外国人旅行者の受入環境整備を面的に整備

観光拠点情報・交流施設のイメージ

主要な観光地(※)における

- ①観光拠点(地域の観光名所)に関する情報提供
- ②観光拠点に関連した交流機会(体験・学習等)の提供を目的とした施設であって、
- ③訪日外国人旅行者を含む不特定多数の観光客が随時かつ快適に利用できるもの
(商業施設、劇場、レジャー施設、スポーツ施設、遊技場その他これらに類する施設で営利を目的とする企業が運営するものを除く。)

※広域観光周遊ルート of 観光拠点などインバウンド受入に取り組む地域

①新規整備する場合 ＜施設の規模感＞



※ 写真の施設はあくまで対象施設の規模感についてのイメージ例

②改良する場合

【ケース例】

- i 既存の日本人向け観光拠点情報・交流施設をインバウンド対応化
- ii 既存の外国人向けになっている観光拠点情報・交流施設を、さらにインバウンド対応強化
- iii 既存の施設に、インバウンドに対応した観光拠点情報・交流施設としての機能を追加

インバウンド対応機能を備えた施設として
新規整備又は内部を改良

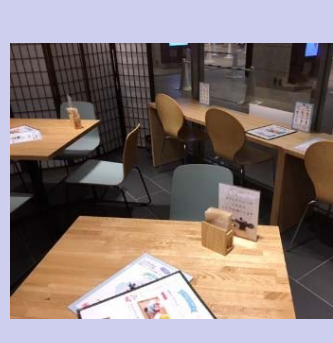
観光案内

多言語表示・展示室

体験・学習スペース

休憩室・洋式トイレ

無料Wi-Fi環境



Japan. Free Wi-Fi